

中間貯蔵施設遮水工遮水シート・保護マットの融着速度高速化

ご承知の通り、各報道によると中間貯蔵施設の着工は本年末頃からと言われている。日本遮水工協会では、遮水工の、材料、構造、施工について昨年度、各方面に提案、更にバージョンアップの検討を進めている。

特に施工においては、放射線量の高いところでの行動となるため、従来以上のスピードを持った施工が望まれることになる。具体的には、遮水材料は広幅で、機械化での展張、そして材料の融着は高速化が望まれる。

ここでは、遮水材料の融着速度高速化(5m/min 程度、検査はリモセン検査)について検討を進めているので、今回中間的な報告をさせて頂くことで、各々の参考にして頂きたいと考えている。

★材料の融着速度高速化参加団体

日本遮水工協会、リモセン研究会、通気・防水シートキャッピング研究会
FPA シート遮水システム研究会

★対象の遮水シート

FPA シート、HDPE シート、LLDPE シート

★融着の高速化機械

今まで使用されているツイニーT型、コメット型、そして最近使用されてきたコモン型。

★現時点のまとめ

- ・ツイニー型、コメット型は速度、熱容量共に限界がある
- ・ツイニー型は、リモセン検査に課題が多い
- ・コモン型は、対応可能と考えるが改良の必要がある

以上、今後コモン型、リモセン検査を加えた高速融着方法の確立を図る。



弘進ゴム株式会社にて実証実験